

- 平成15年4月1日から平成28年8月31日まで岡山大学病院において腎がんに対してラジオ波焼灼術または凍結凝固療法を受けたBirt-Hogg-Dubé症候群の方へ -

「Birt-Hogg-Dubé症候群患者の腎癌に対するアブレーション治療の検討」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科研究科長 那須 保友
岡山大学病院病院長 榎野 博史

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座放射線医学分野
教授 金澤 右

1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

Birt-Hogg-Dubé (バート・ホッグ・デュベ) 症候群は、皮膚病変、肺のう胞、腎がんなどを生じる遺伝性の病気です。近年、腎がんに対する新しい治療として、ラジオ波焼灼術や凍結凝固療法などのアブレーション治療の有効性が報告されています。アブレーション治療は体への負担が少なく、Birt-Hogg-Dubé症候群の患者さんの腎がんに適した治療である可能性があります。本研究では、当院におけるBirt-Hogg-Dubé症候群患者さんの腎がんに対するアブレーション治療の内容や結果を調査します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成15年4月1日から平成28年8月31日まで岡山大学病院において腎がんに対してラジオ波焼灼術または凍結凝固療法を受けたBirt-Hogg-Dubé症候群の方約5人を対象とします。

2) 研究期間

平成28年10月27日～平成29年12月31日

3) 研究方法

当院にて腎がんに対するラジオ波焼灼術または凍結凝固療法を受けられたBirt-Hogg-Dubé症候群の患者さんにおいて、これらの治療の内容や成績をカルテ情報から調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学放射線科医局内の保管庫内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、平成28年11月30日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 放射線科 助教
電話：086-235-7313（平日：9時00分～17時00分）
ファックス：086-235-7316

松井裕輔